



重要文化財・冷泉家住宅の

「冷泉家のオガタマノキ」の後継樹の里帰り

ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

ポイント

「冷泉家のオガタマノキ」の後継樹の苗木が、森林総合研究所林木育種センター関西育種場から重要文化財・冷泉家住宅（京都府京都市）に里帰りします。

概要

森林総合研究所林木育種センター関西育種場（岡山県勝田郡勝央町）では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、これらを品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用した公益財団法人冷泉家時雨亭文庫からの要請を受け、「冷泉家のオガタマノキ」の後継樹として接ぎ木により増殖し育てた苗木が里帰りします。

- ・日時：令和2年2月20日（木曜日） 午前11時（雨天決行）
- ・場所：京都府京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町599番地
- ・本数：3本

問い合わせ先など

- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター 関西育種場
事業責任者：遺伝資源管理課 課長 坂本 庄生（さかもと しょうき）
担当者： 収集管理係長 山本 あゆみ（やまもと あゆみ）
広報担当者：連絡調整課 連絡調整係長 林 勝洋（はやし かつひろ）
Tel：0868-38-5138 Fax：0868-38-5139
- ・公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫
担当者： 岸本 香織（きしもと かおり）
Tel：075-241-4322 Fax：075-256-7144

本資料は、京都府政記者クラブに配付しています。

背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多くあります。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けていることから、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れていることが見込まれ、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、関西育種場では、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により、衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行110番」を平成15年から実施しており、当育種場では平成30年度までに90本の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを行ってきました。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として成長することが期待されます。

内容

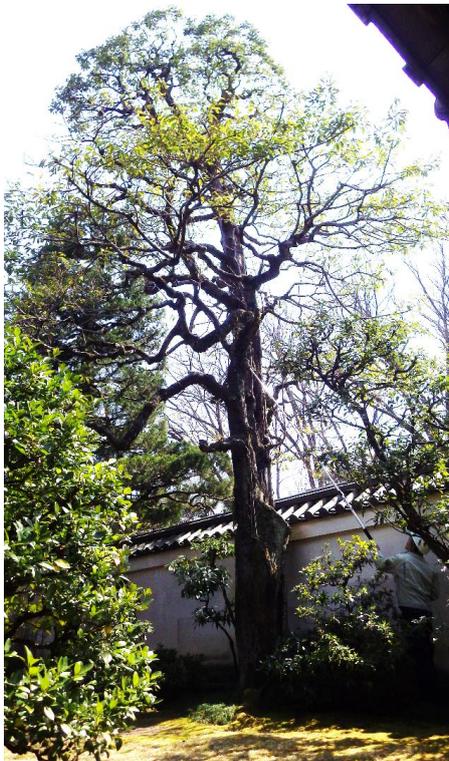
今回里帰りする後継樹の親木は、京都市上京区にある重要文化財 冷泉家住宅の庭に生える「冷泉家のオガタマノキ」（樹高約14.6m、胸高直径64.5cm）です。

重要文化財である冷泉家住宅はかつての公家町にほぼ完全な姿で保存されている、ただ一つの近世公家住宅です。その庭に生える立派なオガタマノキは、22代冷泉為系（ためつぎ）氏の小学校入学祝いに明治20年頃に植えられたものと伝わっています。樹齢は100年を越し、幹には洞があり、近年は台風により被害を受けたことで、今後の衰退が懸念される状況でした。

そこで、この由緒あるオガタマノキを後世に継承するため、冷泉家時雨文庫理事長であり現当主25代冷泉為人（ためひと）氏より林木遺伝子銀行110番に申請がありました。

関西育種場が親木から枝（穂木）を採取し、接ぎ木増殖を試みたところ、増殖に成功し、野外に植栽しても生育できる見込みがたった3本を令和2年2月20日に里帰りさせることとなりました。

写真



冷泉家のオガタマノキ



里帰りする後継樹